

平成 6 年度技術開発実施報告書

様式 2-2

課題名	育成天然林の更新，保育技術，施業体系の確立（多様な森林を目指して）																																		
課題区分		開発 個所 去川国有林 254と 林小班	開発 期間 平成6年度 ～ 平成15年度																																
当年度実施計画		当年度実施報告																																	
<ol style="list-style-type: none"> 1 試験地設定 2 植込み 3 根元径，樹高の測定 4 試験地の表示 5 地拵・植込功程調査 6 有用樹の発生状況調査 	<ol style="list-style-type: none"> 1 試験地設定 <table border="1" data-bbox="821 763 1428 958"> <thead> <tr> <th></th> <th>区域面積</th> <th>本数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イチイガシ</td> <td>2.15HA</td> <td>1700</td> <td>ポット苗</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>1.27</td> <td>1000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天下2</td> <td>0.79</td> <td>-</td> <td>保残木区域</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4.21</td> <td>2700</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>プロット：面積 イチイガシ：10*10M1個所(12本植) ヒノキ：20*20M1個所(49本植) 各プロットL杭にて区域明示 各試験木：小L杭にて一連番号をもって 根元に立て明示 区域全景・各プロット写真記録</p> 2 植込み <p>イチイガシ：普通・等高線植込み （有用広葉樹周囲に保残） ヒノキ：普通・縦植 （列間に有用広葉樹を保残）</p> 3 根元径，樹高の測定 設定時測定（別紙野帳保管） 4 試験地の表示 全体看板1基 5 地拵・植付功程調査 <table border="1" data-bbox="827 1776 1433 1890"> <thead> <tr> <th></th> <th>面積</th> <th>延雇用量</th> <th>人/H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地拵</td> <td>3.42HA</td> <td>27.750</td> <td>8.1</td> </tr> <tr> <td>植込み</td> <td>3.42HA</td> <td>45.875</td> <td>13.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>ノウサギ被害予防対策として試験木周囲 に未木枝条を立てる</p> 6 有用樹の発生状況調査 10*10Mにおいて有用樹発生状況を ぼう芽，天然下種別に調査 				区域面積	本数		イチイガシ	2.15HA	1700	ポット苗	ヒノキ	1.27	1000		天下2	0.79	-	保残木区域	合計	4.21	2700			面積	延雇用量	人/H	地拵	3.42HA	27.750	8.1	植込み	3.42HA	45.875	13.4
	区域面積	本数																																	
イチイガシ	2.15HA	1700	ポット苗																																
ヒノキ	1.27	1000																																	
天下2	0.79	-	保残木区域																																
合計	4.21	2700																																	
	面積	延雇用量	人/H																																
地拵	3.42HA	27.750	8.1																																
植込み	3.42HA	45.875	13.4																																

成長量調査集計表 (設定時調査)

(平成7年3月植)

楠見国有林 254と林小班 3.42(4.21)HA

単位 c m

樹種	調査プロット			備考
	根元径	樹高	枝張	
イチイガシ	0.5	28	7	
ヒノキ	0.7	47	11	

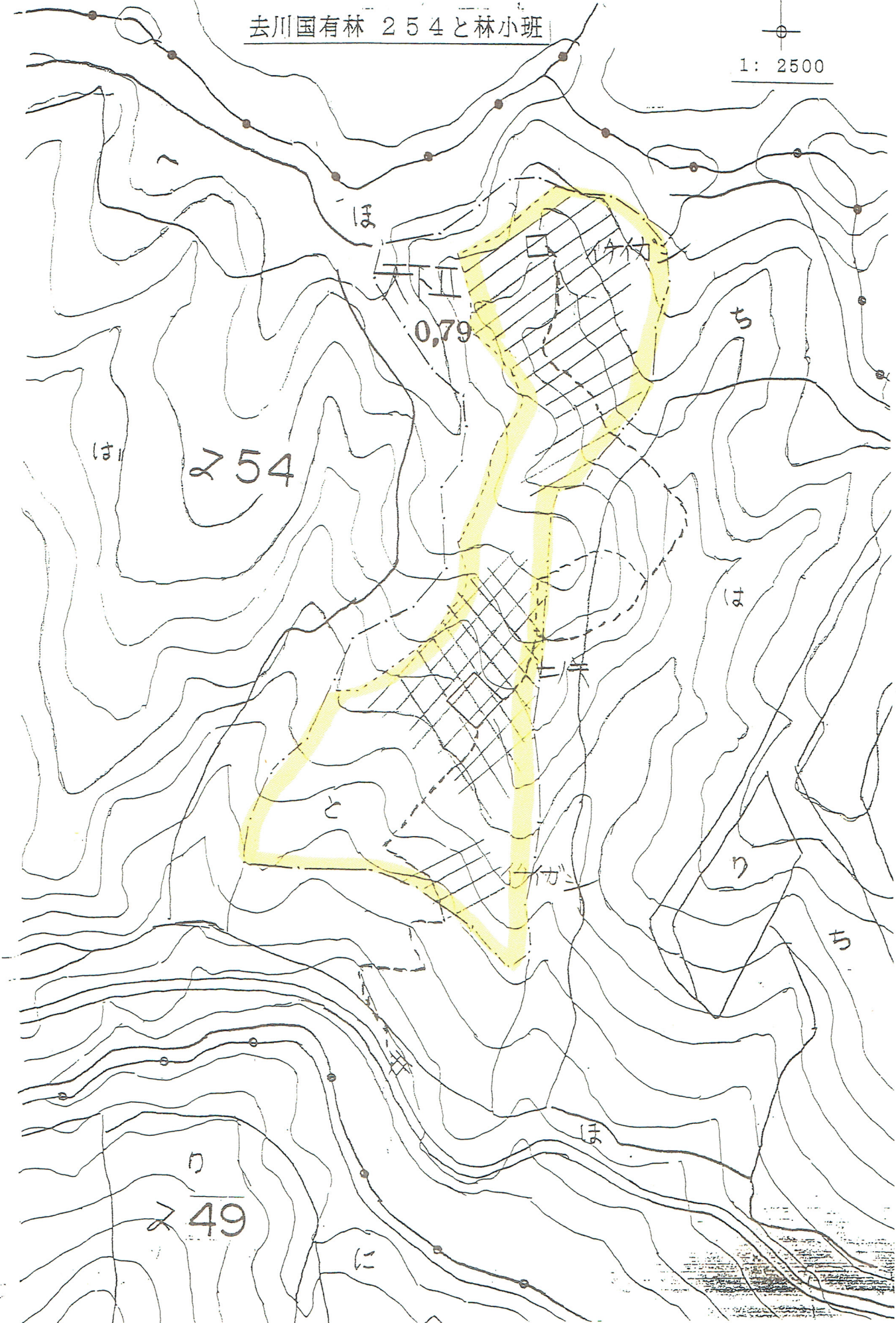
育成天然林・混交林保育試験地位置図

去川国有林 254 と林小班

N



1: 2500



平成6年度設定

育成天然林の更新、保育技術、施業体系の確立
(多様な森林を目指して)

去川国有林
254と林小班

6年度 技術開発全体計画

森林技術センター

技術開発課題	育成天然林の更新, 保育技術, 施業体系の確立 (多様な森林を目指して)		目的	シイ類, カシ類を主とする天然林伐採跡地にヒノキ, イチイガシを植込み, 天然下種, ぼう芽で発生するコジイをはじめとする有用樹を保育し, 針・広混交林による多様な森林を造成することと用材率の向上を図る。						
	開発期間	平成6年度 ~ 平成15年度 (去川国有林 254と林小班)		全体計画	1 試験地設定(植込み区1箇所, 対象区1箇所) 2 功程調査(通常作業区と省力作業区の比較) 3 有用樹種調査(侵入有用樹種の特定) 4 成長量調査(根元径, 胸高径はmm単位, 樹高は10cm単位)					
年度別計画	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度	
	1 試験地設定 2 植込み 3 根元径, 樹高の測定 4 試験地の表示 5 地拵・植込みの功程調査 6 有用樹の発生状況調査		1 成長量調査(根元径, 樹高) 2 功程調査(下刈) 3 有用樹の生育調査(根元径, 樹高)		1 成長量調査(根元径, 樹高) 2 功程調査(下刈) 3 有用樹の生育調査(根元径, 樹高)		1 成長量調査(根元径, 樹高) 2 功程調査(下刈) 3 有用樹の生育調査(根元径, 樹高)		1 成長量調査(根元径, 樹高) 2 功程調査(下刈) 3 有用樹の生育調査(根元径, 樹高)	
	15年度		年度		年度		年度		年度	
1 成長量調査(根元径, 樹高) 2 有用樹の生育調査(根元径, 樹高)										

記載要領 (1) 技術開発課題 - 課題名を記入する。 (2) 目的 - 課題設定の目的を記入する。 (3) 開発期間 - 開発に要する期間を記入する。 (4) 全体計画 - 課題設定期間内に実施する調査項目及び作業種・到達目標等を具体的に記入する。 (5) 年度別計画 - 年度別毎に実施しようとする調査項目・作業種等を具体的に記入する。

試験地設定

(様式1)

区分	自主課題
----	------

森林技術センター

開発課題	育成天然林の更新, 保育技術, 施業体系の確立 (多様な森林を目指して)				期間	自H6年度 至H15年度	
	開発目的 シイ類, カシ類を主とする天然林伐採跡地にヒノキ, イチイガシを植込, 天然下種, ぼう芽で発生するコジイをはじめとする有用樹を保育し, 針・広混交林による多様な森林を造成することと用材率の向上を図る。						
設定	場所	営林署	森林事務所	国有林	林小班		
		宮崎	高岡	去川	254と		
	数量	面積	数量				
		3.42 (4.21)	イチイガシ ヒノキ	2.15 1.27	1,700本 1,000本		
	設定年月日	平成7年3月末		終了年月日			
担当	営林局	森林技術センター 業務第一係					
地況及び 気象	標高	方位	傾斜	基岩	土壌型	土性	
	400m	南	急	砂岩	BC 圃行土		
	深度	堅密度			地位		
					スギ	ヒノキ	

林	林令	林種	樹種	混交率	胸高直径	樹高	材積 ^(ha)	本数
	63	天然林	スギ	10	28	17	300	4500
			ヒノキ	2	24	15		
			カシ	23	34	16		
シイ	20	28	18					
相対照度	下層植生		100%	24	18			
	アカマツ カラマツ カラスガシ フイチゴ							
況	設定前の 施業経緯	平成4年度皆伐						
全体 計画	1 試験地設定(植込区1箇所, 対象区1箇所)							
	2 工期調査(通常作業区と省力作業区の比較)							
	3 有用樹種調査(侵入有用樹の特定)							
	4 成長量調査(根元径・胸高径はmm単位, 樹高は10cm単位で測定)							

- 記載要領
1. 区分は示、自主、任意課題別とする。
 2. 全体計画欄は年度別、実施事項及び目標、また、試験等の指導関係を記入する。